

あいにくだより



インフルエンザワクチン



インフルエンザワクチンといえば注射を思い浮かべるかたが多いかと思いますが、実は「フルミスト」という注射を使わないタイプのワクチンがあります。フルミストは鼻にスプレーすることで接種できる経鼻インフルエンザワクチンです。痛みが少なく、特に注射を嫌がるお子さんにとっては負担の少ない方法として注目されています。

- ワクチンの種類…弱毒性インフルエンザワクチン
- 投与方法…鼻の中に0.1mlずつ（計0.2ml）噴霧する
- 投与回数…1シーズンに1回
- 対応株…A型2種類（H1N1、H3N2）、B型1種類（ビクトリア系統）
- 対象者…2歳以上から19歳未満（18歳11カ月まで）のかた



フルミストは「生ワクチン」に分類され、弱毒化されたインフルエンザウイルスを鼻腔内に噴霧することで免疫をつけます。鼻やのどの粘膜に直接作用するため、自然な感染に近い形で免疫が獲得できるのが大きな特徴です。

接種方法は注射とは異なり、両側の鼻にスプレーするだけなので、針を使うことはありません。これにより、注射を怖がる小児や、注射への恐怖心が強いかたにとって心理的な負担を軽減できる点がメリットです。

— 受けることができない人 —

- 2歳未満、19歳以上のかた
- 現在発熱しているかたや体調がすぐれないかた
- 重度の喘息を持つかた、喘息のあるかた
- アスピリン服用中のかた
- 卵白やその他のワクチン成分（ゼラチン）に対して重度のアレルギーやアナフィラキシーの既往があるかた
- 免疫を低下させる疾患やステロイド・免疫抑制剤の内服により免疫が著しく低下しているかた、または免疫力が著しく低下している人と同居しているかた

など

— 副反応 —

- ワクチン接種後にくしゃみが出たり、喉に垂れたりすることがあります。
- 30～40%の人で接種後3～7日までに鼻汁・鼻閉・咽頭痛・咳などの感冒症状が、数%の人で発熱がでることがあります。
- まれではありますが発疹、じんましの他にアナフィラキシーショックやギランバレー症候群のような重い副反応を起こす可能性は、他のワクチン同様否定できません。



1月のわくわくサークルのお知らせ

餅つき餡餅を作って食べよう

日時 令和8年1月28日（水）10:00～11:30

場所 西庄公民館1階和室

持ち物 コップ、お皿、フォーク、エプロン、三角巾

